７－８	
主題	入居者同士のつながりを深めこころに残る誕生会にするための 取り組みとその効果について
副題	入居者とスタッフと家族と共につくりあげよう

キーワード１	入居者ｻｰﾋﾞｽの向上	キーワード２	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	研究(実践)期間	16ヶ月

法 人 名	聖救主福祉会
事業所名	特別養護老人ホーム　深川愛の園
発表者（職種）	太田司（介護職員）
共同研究(実践)者	芹田智（介護職員）、船越功士（介護職員）、鈴木由紀（介護職員）、他スタッフ

電　話	03-3641-1905	ＦＡＸ	03-3641-1976

今回発表の事業所やサービスの紹介	「神様の守りと導きの中で赤ちゃんからお年寄りまで、いろいろな人が一つ屋根の下で暮らせるように」と、門前仲町という下町で 1999 年４月より事業を始めました。特養 80 床・ショート８床・デイサービス・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・保育園・キッドスクール・教会が同一建物内にあります。

《１．研究(実践)前の状況と課題》

入居者さんが日々の時間を持て余してしまわぬよう、それぞれの方の趣味・特技・職業経験について情報収集し、それを基に週間予定の中の一日を「日課実施強化日」として定め、準備し、入居者さんそれぞれに、ご自身で出来る活動を行っていただいていた。

そんなある日、ＡさんとＢさんはいつも楽しげに会話されているけれど、どこまでお互いのことを知ってらっしゃるのだろう。生活を共にされているのだから、お互いのことをもっと知って頂ける機会を作りたい。と考え、できる事を模索していた。

《２．研究(実践)の目的ならびに仮説》

「縁があって深川愛の園での生活を共にされているのだから、お互いのことをもう少し知ってもらえる機会を作ったら」
普段の生活ももう少し違ったものになるのではないか。

「この取り組みを通して、普段はなかなか知りえない生活場面を、ご家族の方に知ってもらう機会にもなれば。」
施設のことをもっと知ってもらえる機会となり、親しみやすさを感じてもらえるのではないかという仮説を立てた。

月一回行っている誕生会を、今まで以上に充実させる事によって、この仮説を実現させられるのではないかと期待して取り組みを始めた。

無断転載・複製を禁じます。

《３．具体的な取り組みの内容》

・対象者は入居者さん 26 名とショートステイご利用の方々。

・H27.4 月～コミュニケーションの取れる方からは直接、生活歴シート等を用いながら、人生経験について聞き取りを行った。
コミュニケーションの取れない方には、ケース記録から情報を得るほか、ご家族様への聞き取り協力を得た。

・聞き取った内容を基に、誕生会で読み上げるための、入居者さん一人一人のこれまでの振り返り（ライフストーリー）を作成した。

・月一回行っていた誕生会を、入居者さん一人ひとり、誰もが主役になれる誕生日当日に誕生会を開催することとし、対象となる入居者さんのライフストーリーをスタッフが読み上げ、その模様を動画撮影した。

・誕生日当日は、フロアを飾り付けし、主役の方には王冠やたすきを着用して頂いて、多職種で祝福の言葉を伝えた。

《４．取り組みの結果》

・誕生会でお祝いをされる主役の方は、ご自身の人生のこれまでを読み上げられることで、少し恥ずかしそうな表情をされる方や、懐かしそうな表情を浮かべられる方、涙を浮かべられる方など、それぞれの反応があった。

・入居者さん自身の誕生日当日に誕生会を開催することで、フロアスタッフも誕生日当日が 365 日の中の特別な 1 日であると感じられるようになり、入居者さん自身に対する印象がより深まった。

・都合のつくご家族様にはご一緒に誕生会に参加して頂き、お祝いの言葉を直接伝えることができた。

・誕生会に参加された入居者さんは、主役の方のこれまでの人生を聞き、同郷の人であることを改めて知ることが出来たり、理解したり、感嘆の声が上がったりと、お互いのことを知るきっかけとなった様子がうかがえた。

《５．考察、まとめ》

ケアに携わるということは、その方を知ることから始まる。ケース記録から得られる活字の情報以外に、これまでの人生を聞き取りし、ライフストーリーとして文章に表現することによって、われわれスタッフ自身、改めて入居者さんの生い立ちを知る機会となった。
また、こころを通わせたケアへ通じるヒントが得られたように感じられ、日頃のケアの場面でも会話の内容が深まり、事務的ではない人と人とのつながりを感じながらケアに関わることが出来た。

《６．倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《７．参考文献》

新郎新婦のプロフィール紹介例文
plaza.rakuten.co.jp/rchiechie/diary/200703170000/

《８．提案と発信》

入居者さんと関わらせていただく日々のケアにおいて根底にあるもの。
それは「こころ＝気持ち」ではないか。
取り組みを通し、改めて考えさせられた。
「入居からお見送りまで」
ここで出会い、関わりを持つという「縁」を大切に思いながら、ケアに励んでいきたい。
そして「工夫すること・チャレンジすること」を念頭に置きながらケアの充実にも取り組み、時代とともに私たちも進化していきたい。

無断転載・複製を禁じます。